

## 目線を上げて、上げすぎない。

目線と気持ちには、相関関係があります。

目線を下げると、気持ちが沈んで消極的になりますが、目線を上げると、気持ちが明るくなって積極的になれます。

「今すぐしよう」

「もっと成長しよう」

「もう少し頑張ろう」

心のエンジンに火がつき、向上心や積極性が強くなるのです。



では、目線を上げれば上げるほどいいかというと、そうではないのです。

目線を上げすぎると、今度は足元が見えなくなります。

目線を上げすぎると、今度は足元が見えなくなります。

足元に石があっても、見えないため、つまずいてしまうでしょう。

足元に落とし穴があっても、見えないため、落ちてしまうでしょう。

恥ずかしい勘違いをする。

詐欺に騙される。

普通ならしないようなミスが起こります。

向上心が強くなっても、落とし穴に落ちては意味がないのです。

目線を上げるときには、適度が大切です。

目線を上げるなら、足元も見える程度が適切です。

仕事に疲れたときの言葉 その15

**足元も見える程度に目線を上げる。**